

令和5年度第1回柏市地域包括支援センター運営協議会会議録

1 開催日時

令和5年7月13日（木）午後1時30分から3時20分まで

2 開催場所

柏地域医療連携センター 研修室（ハイブリット形式）

3 出席者

(1) 委員

石山委員（会長），井部委員，織田委員，鎌田委員，齊藤委員，高野委員，高橋委員，中村委員，前野委員，村上委員

(2) 市

吉田健康医療部理事，宮本健康医療部次長兼高齢者支援課長，大西健康政策課長，梅澤地域医療推進課長

(3) 事務局（地域包括支援課）

恒岡課長，竹本専門監，宮島専門監，阿部統括リーダー，長谷部副主幹，瀬戸山副主幹，渡辺主査，布施主査，北村主査，山崎主査，喜田主事，中渡主事

(4) 地域包括支援センター

山本柏北部地域包括支援センター長，新井柏北部第2地域包括支援センター長，大島北柏地域包括支援センター長，菅野北柏第2地域包括支援センター長，齊藤柏西口地域包括支援センター長，笠原柏西口第2地域包括支援センター長，村本柏東口地域包括支援センター長，志摩柏東口第2地域包括支援センター長，神津光ヶ丘地域包括支援センター長，宮原柏南部地域包括支援センター長，三柴柏南部第2地域包括支援センター長，日笠沼南地域包括支援センター長

4 議題

- (1) 令和4年度地域包括支援センターの事業実績について
- (2) 令和4年度地域包括支援センターの事業評価について
- (3) 令和5年度地域包括支援センターの事業計画について
- (4) 令和5年度地域ケア推進会議について

5 議事

- (1) 令和4年度地域包括支援センターの事業実績について

事務局より資料1に沿って報告した後、質疑等を行った。主な内容は次のとおり。

<質疑応答>

【井部委員】

資料1のスライド3に記載の一般介護予防事業におけるサークルやサロン等の地域の団体への支援について、センターによって開催回数や参加人数に差があるが、この差はどのような要因によるものか、各センターで目標設定がされているものなのか、お伺いしたい。

【事務局】

開催回数等については、各圏域ごとのサロンの数にも影響される。また、各センターでは、年度末に翌年度の重点的な取り組みを定めており、フレイル予防の普及啓発を重点活動としたセンターにおいては、比較的多くのサロンを訪問したり、サロンからの支援要望も多いことが考えられる。

【中村委員】

一般介護予防事業における介護予防普及啓発事業において、講座等の開催状況がセンターにより差があるが、その中でも柏西口第2地域包括支援センターは昨年度多くの参加者を集めている。新型コロナウイルス感染症の分類が5類になる前にこれだけの参加者を集めたのはどのような取組をされたのか、紹介いただきたい。

【柏西口第2・笠原センター長】

柏西口第2地域包括支援センターでは、感染予防対策をしたフレイル予防の活動として、毎週金曜日に公園を活用したラジオ体操を行っている。室内ではないため、感染リスクは低いと感じていただき、多くのかたが継続して活動できている。

また、センター独自で、事務所のあるイオンモール内でのウォーキング講座を主催しており、こちらも感染予防対策を行いつつ、天気の良い時は外を歩いたり工夫し、参加者が減ることなく継続的に行えている。

以上の理由から多くのかたに御参加いただけたと考える。

【石山会長】

参加人数に関しては、市民が安心して参加できる環境があった結果であると思う。このような知見は今後にも活かしていけるものであると思うため、適宜共有していただきたい。

【齊藤委員】

資料1のスライド1に記載のケアプラン作成件数に関して、予防ケアプランの作成について待機者がいるとよく聞く。委託率が下がっていることで、待機人数が増えているのではないか。

【事務局】

ケアプラン作成については、要支援者数が大幅に増加しているため、地域包括支援センターでは、専従のプランナーを配置しているところである。

ケアプラン作成に当たっては、昨年度頃から、居宅介護支援事業所への一部委託によるケアプラン作成についても、調整が難航しているとセンターから聴取している。また、一部のセンターにおいては、利用者に待機いただいていると把握している。一部委託については、各事業所に協力をいただきながら、市民へ迷惑がかからないよう努めているところである。

<決定事項>

事務局からの報告内容にて、令和4年度地域包括支援センターの事業実績として承認を得た。

(2) 令和4年度地域包括支援センターの事業評価について

事務局より資料2に沿って報告した後、質疑等を行った。主な内容は次のとおり。

<質疑応答等>

【前野委員】

資料2の5ページの評価 No.27「高齢者虐待事例」について、多くのセンターの評価が3になっているが評価指標はどのようなになっているのか。

また、資料1の7ページに高齢者虐待への対応表があるが、通報件数に対して虐待として対応した件数が少ないのはなぜか。

【事務局】

まず、市民やケアマネジャー、介護事業所等より通報を受けた案件に対して、行政が虐待かどうかを判断し、虐待と判断したケ

ースに対して，地域包括支援センターを中心に，行政やケアマネジャー，介護事業所等と連携し，対応する。

虐待対応においては，迅速かつ効果的に解決をしていくという評価指標があり，通報から概ね4ヶ月程度を目安に解決をしていくこととなっている。このため，通報件数とは別に，迅速かつ効果的に解決したかを判断するため，虐待と判断したケースの内，概ね8割が4ヶ月以内に終結した場合は，3という評価をしている。

一方，資料1の通報件数に対する虐待の取り扱い件数については，虐待が疑われるものとして受けた通報に対して，行政は地域包括支援センターとともに，会議を開催し，虐待と捉えるのかあるいは虐待ではなく家族間又は関係者間のトラブルと捉えるのか判断をする。このため，通報と虐待として対応した件数に乖離がある。

【鎌田委員】

地域包括支援センターアンケート調査結果における対応の満足度について，利用者やケアマネジャーから不満，あるいはやや不満という回答が多いように感じるが，不満と回答した理由について，お伺いしたい。

【事務局】

不満及びやや不満としていただいている意見としては，職員により対応に差があることや，自分の求める対応ではなかった，というものがあつた。対応の差については，センター長による所内の管理のほか，市による研修の開催等により，対応の質向上を図っているところである。また，求められた対応と異なる点については，職員が相談支援の中で，相談者が何を求め何に困っているのか，ニーズをとらえ対応していくことが必要と考えている。今年度も各センター職員の質の向上へ努めていく。

【鎌田委員】

民生委員の満足度の未回答18件とは，白紙で提出したということか。

【事務局】

お見込みのとおり，当該項目には御回答いただいていないとい

うことである。

【高野委員】

アンケート調査結果において、市全体のアンケート結果は十分満足及びある程度満足の割合は、令和3年度と比べ少し下がった程度であるが、各センター別の満足度を見ると、かなり地域差がある。この地域差をどう平準化していくのかお伺いしたい。

【事務局】

地域によって、市民のニーズや抱える地域課題などは様々であり、これに対し、各センターが地域課題と個別課題の両方を捉えられるよう、職員の質向上をまず図っていかねばならないと捉えている。特に、在籍年数が少ない職員が一定数いるため、そのような職員に対し、センター長及び地域包括支援課から助言を行い、的確に相談者のニーズを捉えられるようにしてまいりたい。

また、地域からも、地域包括支援センターの役割や相談への対応について御意見をいただき、質の向上に努めてまいりたい。

【高野委員】

センターの対応の質に差があるとなると、地域によっては適切なサービスが受けられなくなってしまうという不利益につながると考える。ぜひ市全体で質の向上を図っていただきたい。

【石山会長】

相談だけではなく、受けられるサービスという観点においても向上を図っていただきたい。

<決定事項>

事務局からの報告及び質疑応答等を踏まえ、令和4年度地域包括支援センターの事業評価として承認を得た。

(3) 令和5年度地域包括支援センターの事業計画について

事務局及び各地域包括支援センターより資料3に沿って説明した後、質疑等を行った。主な内容は次のとおり。

<質疑応答等>

【鎌田委員】

日常生活圏域データの、高齢者単身世帯と高齢者のみ世帯数の数値について、前年度比は柏市全体でどのくらい増減しているのか。

【事務局】

日常生活圏域データは介護保険の認定状況とともに、毎年1回、市民へ公表しているものである。増減の状況については、後日、回答させていただく。

<決定事項>

事務局及び各地域包括支援センター長の説明及び質疑応答を踏まえ、令和5年度地域包括支援センターの事業計画として承認を得た。

(4) 令和5年度地域ケア推進会議について

事務局及び沼南地域包括支援センターより資料4に沿って説明を行った。協議及び質疑については、後日改めて行うこととなった。

6 報告事項

(1) 介護予防支援及び総合事業に係るケアマネジメント業務について

事務局より資料5に沿って報告を行った。

(2) 令和3年度のセンター運営に対する評価結果（全国・県平均との比較）

事務局より資料6に沿って報告を行った。

7 傍聴

なし

8 次回開催日時（予定）

令和5年10月12日（木）午後1時30分から3時30分まで